

採火式 in 総社



ランタンに採火した川田さん（写真右から2番目）と丸山さん（同右端）

カメラ
フォトニュース
まちの話題

●ミニフォト

笑顔をお願いするシトラスリボン



願いを込めてシトラスリボンを渡す

明治安田生命保険相互会社と市内の障がい者が協力し、新型コロナウイルスに関する差別や偏見をなくす運動のシンボルであるシトラスリボンを製作。8月24日から31日まで、総社デニムマスクを購入した人に配布されました。

古代の文字を書いてみよう



線の刻み方を教わりながら挑戦

県博物館協議会 30 周年事業の一環として8月20日、まちかど郷土館でくさび形文字を使ったネームタグづくりのワークショップが行われました。参加者は慣れない作業に手間取りながら、粘土板に文字を刻んでいました。

見た人を魅了する漆芸作品



制作方法の説明を受ける

8月24日から26日まで、漆芸家の塩津容子さんが主宰する総社漆芸教室の開設15周年を記念し、市民ギャラリーで展示会が開催されました。来場者は、講座生が手掛けた盆や器などの漆芸作品に興味深く鑑賞していました。

備中売薬の歴史を学ぶ



生薬の匂いの違いを確認

8月24日から26日まで、まちかど郷土館で「備中売薬“意外に身近な薬の世界”」と題して、江戸時代に使われた生薬などが展示されました。来館者は、総社市が薬の製造・販売で栄えていた歴史を、熱心に学んでいました。

楽しく笑って健康に



巧みな話芸で会場を笑顔に包む

8月21日、市民会館で総社市民大学講座が開催され、落語家の春風亭昇吉さんが、「笑いと健康」と題して講演。笑いが健康に良い影響をもたらした実験結果などを紹介しながら、毎日を笑顔で過ごすことの大切さを話しました。

手品道具を作ってみよう



天井に届きそうな新聞紙ツリ

東公民館で夏休み中の子ども向け講座が開催され、8月18日には手品教室が行われました。講師が新聞紙の筒が伸びる手品などを披露した後、道具の作り方を紹介。お互いに手品を見せ合うなどしながら、制作を楽しんでいました。

“復興”と“福祉”の火をともし

東京 2020 パラリンピック採火式 in 総社

8月12日、東京2020パラリンピックの聖火をともし採火式を市役所玄関で行いました。

総社市の採火式は、「復興」と「福祉」をテーマに設定。下原・砂古自主防災組織副本部長の川田一馬さんが復興の火を、陸上競技に取り組むパラアスリートの丸山津久志さんが福祉の火を採火しました。川田さんは、「本当の復興は地域の皆さんに笑顔が戻ったとき。その時まで心のともしびをもち続けたい」と、丸山さんは、「日本選手が多くメダルを獲得することを期待したい。同じ障がいがある者として、一生懸命応援します」と、それぞれの思いを話しました。

採火式は全国の自治体で行われ、各都道府県でまとめられた聖火が東京に届けられました。

幼稚園預かり保育



長期休業中の預かり保育。職員手作りのウォーターライダーで遊ぶ総社幼稚園の園児たち

市内9カ所の幼稚園で、午後5時まで保育する預かり保育を行っています。午後6時までの延長保育もあり、長期休業中も実施しています。総社南・山手幼稚園では、午前8時から早朝預かりも行っています。

預かり保育はその園に在籍している園児が利用できます。園区は住所により決まっていますが、条件を満たせば、市内のどこに住んでいても預かり保育のある園へ通うことができます。

保護者の就労などの理由がある場合、申請することで預かり保育を無償で利用することができます。詳しくは、在籍園かこども夢づくり課へお問い合わせください。

●実施幼稚園：総社、総社南、総社北、常盤、三須、服部、阿曾、久代、山手
問い合わせ こども夢づくり課 (☎② 8265)



チュッピー子育て
ほっとメール

kosodate@city.soja.okayama.jp

子育ての相談をしたくても時間がとれない人、窓口で相談しにくい人の悩みに、チュッピーと職員・保健師が答えます。



問い合わせ こども課
子育て支援係 (☎② 8268)

学校給食 おすすめレシピ

大学いも



●材料(4人分)

- サツマイモ…240g ●黒ゴマ…4g ●揚げ油…適量
- 調味料…しょうゆ=大さじ1.5 水=大さじ1.5 砂糖=大さじ1 みりん=大さじ1

●作り方

- ① サツマイモを2cm角の大きさに切る。
- ② 水にさらして、ペーパータオルなどで水気をとる。
- ③ 170～180℃の油でサツマイモを素揚げにし、油を切っておく。
- ④ 調味料を鍋に入れ、煮詰める。
- ⑤ ④の鍋に③を入れてあえる。
- ⑥ 黒ゴマを振る。

●その他の献立 牛乳、きのこうどん

子育て王国そじゃ